

HFA キッズ通信



カーライフサポート宣言の
トヨタカローラ兵庫

<https://www.c-hyogo.co.jp/>

【 めざせクラッキ・JFA パスポート 】

★「めざせクラッキ」がスタートしました！「めざせクラッキ」とは、子どもの成長に必要な動き、身体の動かし方を、遊び感覚で身につけられるプログラム。JFA チャレンジゲームの初級版で、小学2年生以下を目安として、個人で様々な動きやテクニックをどんどん身につけられるゲームです。そして、課題をクリアした未就学児には「スターキット」をプレゼント！ぜひ、チャレンジしてください。



◆JFA 公式アプリ「**JFA Passport**」がスタートしました！サッカーに関するニュース、動画、お知らせなどがアプリで閲覧できます。ぜひ、ダウンロードしてください。

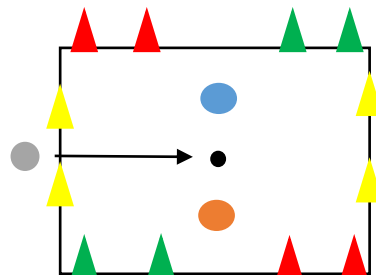


(キッズ副委員長 橋本 賢)

【 キッズドリル 】

ゴール沢山 1対1

赤、緑、黄色のゴールを2か所ずつ設置する
コーチから配給し1対1スタート
ボールを受けた選手は好きな所にシュートする
DFがボールを奪ったらシュートまでいこう！



発展・工夫
配給と同時にコーチが色を指定しその色のゴールにシュート
ゴールの大きさを変えて難易度を調整しましょう
皆がシュートを打つ事ができる様に配給を工夫しましょう

キーファクター

- ・ボールとゴールと相手をよく見よう
- ・最後まで諦めずにボールを追いかけよう

(JFA 公認キッズリーダーインストラクター 安部井 雄太)

【 運動神経は遺伝する？ 】

「7歳の子どもの運動が下手なのは自分たち両親が運動が苦手なための遺伝ですか？どうしたらよいのでしょうか？」と相談を受けました。

昨年のキッズ通信に脳の重さは5~6歳までに成人の90%、12歳頃にはほぼ100%に達すると書きましたが、脳は重さだけではなくその機能の発達が重要で、脳細胞同士の連結の増加が大事です。

運動の指令が脳から筋肉まで送られる時の情報の通り道を運動神経と言います。走る・投げる・跳ぶ・蹴る・泳ぐなどの体の動かし方の協調運動が上手にできるかどうかです。

3~9歳頃(プレゴールデンエイジ)は脳の神経回路の発達が著しく、多種多様な運動をさせるのがいい時期で、10~12歳頃(ゴールデンエイジ)はプレゴールデンエイジで作られた神経回路が多いと動作を短時間で覚えられる時期だといわれています。

運動神経というのは遺伝ではなく子どもが徐々に習得するもので、相談のあったお子さんは色々な運動をする機会が少なかった(運動が不得意な両親のため子どもにあまり運動をさせていなかった)ためのようです。

12歳頃までは運動能力は向上するので、7歳はプレゴールデンエイジ中ですし、「今からでも色々な運動(体操・水泳・サッカー・野球・スキー・ダンス・空手 etc.)をさせるべきだ。」とお答えしました。

生まれつき運動の上手な子も下手な子もいません。運動神経のいい子の特徴は、運動環境がいい・プレゴールデンエイジに運動能力を伸ばしている・複数の運動をしている、などがあるそうです。

大人でも繰り返して練習をすればできるようになることも多々あります。子どもの能力は計り知れませんが子どもたちにできるだけ色々な運動をする機会を与えてください。

そして、今後の成長を期待して見守ってやってください。

(益子整形外科医院・ヴィッセル神戸医務室院長 益子 秀久)

【 キッズフェスティバル 】

12月17日(土)ユニバー記念競技場にてJFAキッズサッカーフェスティバルを前日からの予報通りの悪天候の中、楽しみに待っていてくれる子ども達の為ギリギリまでスタッフで思案して午前のみでも開催しようと決定し、ご参加される際には、防寒対策のお願いをして開催しました。

午後に参加予定の皆さま申し訳ありませんでした。

今回のフェスティバルは「めざせクラッキ！対象イベント」でもあり、ハンドブックとイベント参加シールの配布。ウォーミングアップでは EXILE TETSUYA さん監修・JFAが開発した<クラッキダンス>を子ども達・スタッフ・同行コーチ全員で行いました。こちらは、イベント閉会式にてダンスを頑張っていた子にキッズ委員長より優秀盾の授与をしました。

その後ゲームが始まり、冷たい雨が降ってきた中でも子ども達は笑顔で元気に、ひたむきにボールを追いかけていました。年末のお忙しい中、ご参加下さり誠にありがとうございました。今後も子ども達とご家族、そして我々スタッフもよりサッカーが好きになれる様努力していきたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



(キッズフェスティバル部 成田典子)

【 第2回キッズチャレンジプログラム活動報告 】

12月4日(日)神戸総合運動公園補助競技場にてキッズチャレンジプログラムを行いました。今回2回目のイベントとなりましたが、幼児21名、小学生19名参加していただきました。今回は運動能力向上トレーニングとして山口氏による走り方、身体の動かし方のトレーニングを多く取り入れました。幼児クラスのサッカートレーニングでは「ボールを触る」をテーマにさまざまな体の部位でのドリブルボールストップや、ボール出しゲームを行い、最後にボール3つでの試合を行いました。常にボールを触ることができ試合でも多くのゴールを見ることができました。

小学生クラスでは山口氏の走り方、身体の動かし方のトレーニングの後、サッカーでは「見る」をテーマに交差ドリブルを行い、ボールを持っている時でも顔を上げる事を意識しました。

試合ではボール2つで行い、試合中どちらのボールに関わる方がいいのか、ボールを持っていない時、ボール持っている時、常に周りを意識してみようと伝え、素直な選手たちはパスをする選手が出てきたり、危ない場所へ戻る選手が出てきたりと難しいことにも挑戦してくれました。

次回のキッズプログラムでも楽しみながら運動能力や技術が向上していけるように工夫していきたいと思っております。

(キッズチャレンジ担当 加藤 琢馬)

子どもたちにサッカーとの素敵な出会いを♪



【 年間活動予定 】

- 【巡回指導訪問スクール】・・・・・・・・・・ 随時開催予定
- 【JFA 公認キッズリーダー養成講習会】
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 随時開催予定
- 【JFA キッズサッカーフェスティバル】
・・・・・・・・・・ 随時開催予定
- 【キッズチャレンジ】
・・・・・・・・・・ 随時開催予定



Soccer



詳しくはホームページをご覧くださいネ♪
info@hyogo-fa.gr.jp ^
皆様のご訪問を心よりお待ちしております



<発信元>(一社)兵庫県サッカー協会キッズ委員会
住所:神戸市中央区八幡通 2-1-10
電話:078-232-0753 FAX: 078-232-4647
URL:http://www.hyogo-fa.gr.jp/
メール:info@hyogo-fa.gr.jp

